



# 親が作る

# 子どもの家新聞



## 「子どもの問題解決能力を育む親のかかわり方」

### 座談会

【日頃、子どもが何かに困り問題を解決しようとした時、どのように親はかかわっていますか?】

年長母A 「まず、問題を理解

しているか確認して、気持ち

言葉に出させて、それを受け止

めてあげるのが大事かなって」

年少母A 「子供の答えを待た

ずにアドバイスしてることが多い

かも…」

年長母B 「大人の時間の都合

など、手を出してしまっている

部分はまだまだあつて少し反省

しています」

年長母C 「すごい冷たいかも

…とりあえず放っておいて、『何

がおこったの?』と状況を確認

して、それに対して『どう思うの

か?どうしたいのか?』を聞き

ます」

年中母A 「でも、子供って『わ

からない』って言わない?」

年長母C 「わからないって言わ

れたら、『もう少し考えてみよ

うか?』何か一つでも自分で

考えておいで』と言っています」

年少母B 「それは、数日続いた

り、忘れちゃったりすることは

ないですか?」

がわからない時とかどうして

た?」

年長母D 「子供が小さい頃

は、親が子供の気持ちを代弁

しちやっていたかも…でも、今

は子供の言葉で組み立てる作

業を大切にしています」

年長母C 「年少の頃は、子供

の言っていることがわからない

時に、『なあに?まず、誰がい

るの?』と話を通じるようにや

りとりをしていました」

年少母E 「年少くらいだと、

『いやだ』の意思表示がおぼつか

ないことも…」

年中母A 「学年や男女によっ

ても、親のかかわり方は、違

うね」

年少母F 「子供の話が長い

と、良くないと分かっていな

がら流している部分もあつたり

して…」

### 論理的に物事を考え、自分の意志を伝える力を養うにはどうしたらいい?

年長母C 「子供の話が長く要

領を得ない時は、『何か一つだ

け言ってみようか?』子どもが

『そんな一つだけ言えないよ』と

言ってきたら、『三つまでしか聞

けない』と伝えるようにしていま

す。そうすると主語・述語・動詞

がはつきりするので、自分の思っ

たことを伝える練習になるよ」

年中母B 「でも子供と、一対一

でやりとりしていると煮詰まるこ

ともあるよね。やっぱり、親が感

情的になつちやうと子供と論理

的に話すのは難しい」

年長母E 「うちは、父親がわり

と厳しくしていて、子供がやると

言ったことは、一日かけてもやら

せたり、宿題は父親がみていま

す」

年長母F 「やっぱり父親のかか

わりが必要だよね」

年少母G 「母親だと子供に色々

言いたくなってしまうけど、我が

家は父親から『細かいことにはこ

だわらず、あまり怒るな』と言わ

れているので、私は子供に指示し

ないようにしています」

年長母G 「子供が何か困った

時、家族で問題意識を共有し

て、子供が自ら『どうする?』ど

うしよう?』と考えて気づき、答

えを与えずに時間はかかっても

子供自身が行動し解決するよう

に見守ることが大切だよね」

### 【座談会を終えて】

▼みなさんの、自宅でのかかわり

方など話を聞くことができ、沢山

の気づきがありました。今後も参

考にしながら、意識して子どもと

接していこうと思います(年長母)

▼親が感情的になった時は、論

理的に話しをするのが難しいので、

子供との距離を一旦置き冷静にな

ることが大事だなと改めて思いま

した。(年少母)

▼メインテーマから脱線しつつ、

和やかに懇談できて楽しかったで

す。色々な意見を受け入れられる

柔軟な心を持ち続けたいと思いま

した。(年長母)

▼泣いて話しにならないことが多

く、初めから答えを与え、考えさ

せることを怠っていました。お話し

を聞いて、丁寧に対話を重ねていく

ことの大切さを改めて感じました。

(年少母)

▼座談会ではいろんな人の意見

が聞けて、私自身もとても参考に

なりました。日々役立てていま

す。ちよつとずつ、子供も変わって

きたように感じます。またこういう

機会があるといいなと思いました。

(年中母)

# 係からのお知らせ



## 2013 運動会をふりかえって

前日の雨の影響でグラウンド整備に300kg 超えの砂をまき開催した運動会。

各係の方には名札やバトン管理等をお願いしたり、積極的に汚れた教具の掃除もしていただきました。気をつけたことは、各係への仕事依頼、特に大道具は行動を明確にしました。先生方や皆様のご協力のおかげで無事に開催できました。ありがとうございました！（運動会係）



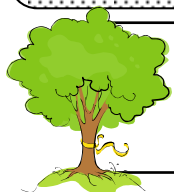
### 運動会みんなの声

今年は卒園児の小学生参加が多く、子どもたちの士気が上がり、とても盛り上がったので、来年からもOB 卒があっても良いかも・・・

卒園児父兄も付き添いだけでなく「競技に参加したい」という声もありました。

祖父母にも参加賞があると喜ばれそう！

プレや親子クラスなど、「子どもの家」に興味を持ってくれた人から質問を受けた際、係の仕事の中で対応できないケースもあり、次回からBGM 係等で兼任可能であれば紹介できるインフォメーション担当（HP に掲載してある情報等）があっても良いと思った。



### ■卒園児・在園児ママ交流サークル■

## モンテッソーリ ままぷりも

九月の次年度入園希望者見学会のあとに、ランチ会を開きました。体験談を交えながら、楽しいひとときを過ごしました。  
次回ワークショップは「ゴビ・モビールを作ろうの会」を開催します。トッポンチーノ同様、実際に作り、使用してみるとモンテッソーリグッズの良さを肌で感じる事ができます。  
来期は、「自立を促す洋服・持ち物」や、簡単に作れるおもちゃを紹介していきます。  
すでに販売中のトッポンチーノだけでなく、製作物は随時販売していく予定です。  
フリーマーケット等にも定期的に参加していきます。  
皆様のアイデア募集中です！

### 田んぼ係より

子ども達が作ったかかし、母達が張ったテグスに守られて、緑米はすくすくと育ちました。

先日、秋晴れの中収穫となり、あとは味わうのみです！



赤米・緑米という個性なお米を堪能してみてください。

### エコ・リサイクル係より

「ガレージバザー」「はなみずき公園フリーマーケット」100人以上のお客様に購入いただき、合わせて**52,083**円の純利益と、大変好調な結果となりました！

後日、園に寄付させていただきました。園からの緑米も、合計30袋完売しました。先生方、皆様のご協力に感謝致します。ありがとうございました。

### 図書係より

新刊の中から2冊ご紹介します！

「いとでんわ」小林実（福音館書店）

声の伝わり方や作り方がくわしくわかって、読んだら作ってみたいくなる本。



「ひとつ たくさん」長野博一（福音館書店）

子猫がバッタを追いかけているが、虫は1匹お皿は1枚と数え方も覚えらる本。



## パパリポート！

### 「父親参観に参加させて頂き」（年少父）

この度は、子供の日々の「お仕事」の活動を拝見する機会を頂きまして有難うございます。

日頃より、子供の家での活動を、妻より聞いておりますが実際に参加させて頂き、個々人が自分の仕事に向きあう姿を、拝見することが出来ました。

わが子は、先生に確認を取りながら、やり直しの繰り返しで、まだ落ち着きがないようでしたが、これからどう変わっていくのかが楽しみです。

子供の成長を感じ取れる参観日となり、有意義な時間となりました。

見学後は、親子でシャボン玉をしました。ハンガリーの針金を丸くしたものや、型抜きなど、普段とは違った物を使ったり、直接手を使ったり、親子がともに考えて楽しく時間を過ごすことが出来ました。子供と接する際には、親がまずは楽しまなければ、子供は楽しめないと思っております。共に楽しむ時間をなかなか取れないのも事実であると思いますので、わが子と共に遊び楽しんで時間を過ごした。

今後も時間をつくり、共に考え遊ぶ時間を作って行きたいと思っております。

原稿依頼を快く受けて下さった皆様に感謝です！  
執筆者の敬称は省略にて失礼致します。（新聞係）